

あなたと健康をひらく広報誌

あいのまど

Take Free

ご自由にお持ち帰りください

秋田赤十字病院

No.47

2022

AI no MADO



contents

特集：春に注意すべき子どもの疾患

小児科

部門紹介：健康増進センター

健康コラム「小児 お薬の飲ませ方」

ACTION!防災・減災

一緒に乗り越えよう。また、笑顔になるために。

市民公開講座のお知らせ

教えて!病気や健康のこと!

～秋田赤十字病院の専門医が分かりやすく解説～

裏面には
外来診察一覽も
ついています



COVER PHOTO
ひょうしのしゃしん



祝!ドクターヘリ
10周年!

2012年1月23日に運航を開始した秋田県ドクターヘリが今年で10周年を迎えました。秋田県ドクターヘリ事業は、県民の救命率の向上と後遺障害の軽減を図ることを目的に、県の要請を受け、秋田赤十字病院を基地病院として運航しています。

これからも安全・安心を第一にドクターヘリ運航ができるよう努力してまいりますので、ご協力よろしくお願いたします。

撮影協力:朝日航洋株式会社

「あいのまど」の由来

当院の病棟では個室も4床室も患者さん一人にひとつ窓があります。その安らぎの療養環境からイメージを得て病院歌「愛の窓」が作られ、そこから着想したものです。

特集 小児科

Pediatrics

春に注意すべき子どもの疾患

医師
あきやま こうじ
秋山 光司

ひとこと:子ども達が元気に過ごせるように精進しています。

臨床研修医
すずき りゅうたろう
鈴木 隆太郎

ひとこと:地域に貢献できるよう、日々勉強中です!



副院長(兼)第一小児科部長
たむら まさみち
田村 真通

日本専門医機構認定小児科専門医
日本小児科学会小児科指導医
日本小児循環器学会小児循環器専門医
日本先天性心疾患インターベンション学会認定医
臨床研修指導医
ひとこと:子ども達の安心、安全を守りましょう。

第二小児科部長
つちだ さとこ
土田 聡子

日本専門医機構認定小児科専門医
日本小児科学会小児科指導医
日本腎臓学会腎臓専門医・認定指導医
日本透析医学会透析専門医
日本リウマチ学会リウマチ専門医
臨床研修指導医
ひとこと:お子さんの健やかな生活を支えていきたいと思ひます。

のつけからタイトルに反する様で申し訳ありませんが、実は特に春に流行しやすい疾患といわれるものはないようです。比較的溶連菌感染症やヒトメタニューモウイルス感染症が多い傾向はありますが、リンゴ病(伝染性紅斑)、水ぼうそう(水痘)、おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)などの不特定多数の感染症が流行することもあります。一般に春は寒暖の差が激しいことに加え、入園・入学・進学などの急激な環境の変化も重なり、体調を崩しやすい時期だと言えます。また集団生活で病気をもらう機会が多くなることにも注意が必要です。子ども達は頻繁に何らかの感染症に罹患していますので、発熱、咳、鼻水、食欲不振といった初期症状を見逃さないように注意することが大切です。さらにワクチン接種で予防できる病気については、ぜひとも母子手帳などで接種

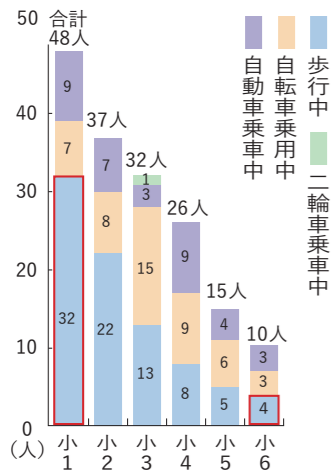


図1 小学生の状態別死者数(平成25~29年の合計)

漏れないことをご確認ください。ご不明の点があればかかりつけ医あるいは当院へご相談いただきたいと思ひます。もう一点、「疾患」とは異なりますが、春は子どもの交通事故が増加する傾向にあるといわれています。4月は多くの子どもたちが新入生となり通学が始まるからです。警察庁交通局が出している「児童・生徒の交通事故」によると、特に小学1年生の歩行中の死者数は小学6年生の約8倍にもものぼるといいます(図1)。

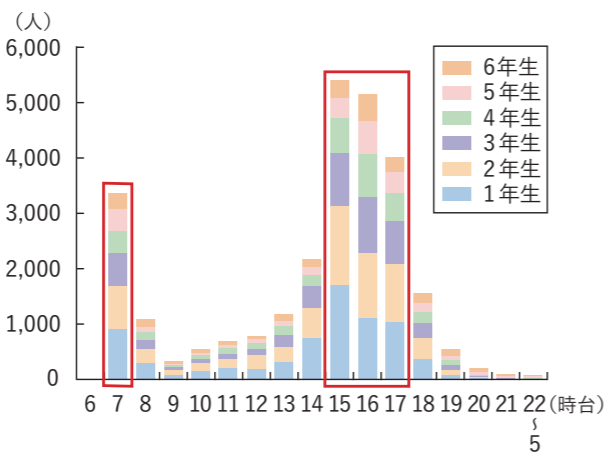
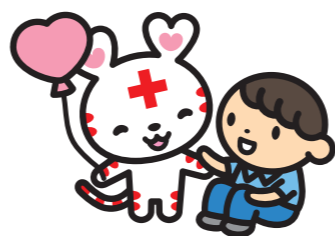


図2 小学生の歩行中事故の時間帯別死傷者数(平成25~29年の合計)

通学に慣れていない子どもたちの不慮の事故が増加してしまうことの表れです。また、自転車事故、遊具や階段などからの転落・転倒、スポーツ外傷などにも注意が必要となります。日本では小児期(14歳以下)の「不慮の事故死」が、病気を含まむ全ての死因の中で常に上位であること、そしてその多くが予防可能であることに、今一度留意すべきだと思ひます。

7時台や、15~17時台までの登下校時間帯に特に多く、横断歩道を横断中の事故は約39.1%を占めています。(図2)



小児科のページはこちら



小児科

当院の小児科は、外来では病診連携をもとにした紹介型外来、救急外来、特殊外来(予防接種、乳児健診)、及び専門外来(神経発達、心臓、腎・膠原病・夜尿症、胎児心エコー検査、成育支援)を行っています。入院は急性期疾患、各種検査入院を中心とした一般小児科入院診療と総合周産期母子医療センターでの新生児医療の二本柱の体制となっています。

知っておきたい薬の知識

「小児 お薬の飲ませ方」

お薬をきちんと飲むことは、病気を治療するうえでとても大切です。
 小さな子どもは、お薬を飲むのを嫌がるものですが、ちょっとした工夫で
 上手にお薬を飲ませることができるものです。
 薬の種類や子どもの好みもありますが、飲ませ方をご紹介します。



新生児 や 乳児



哺乳瓶

哺乳瓶の乳首に少量の水または白湯で薬を溶かして飲ませます。
 哺乳瓶の乳首の中の薬がなくなるまで水や白湯を追加してください。

ペースト・団子状

極少量の水または白湯で薬を練り、ペースト・団子状にし、頬の内側に塗ります。
 その後すぐに水や白湯を飲ませ流し込みます。

※ミルクに混ぜるとミルクの味が変わり、ミルク嫌いの原因になってしまうことがあるので避けるようにしましょう。水や白湯で飲ませる習慣をつけるようにしてください。

スポイト

シロップ剤・水や白湯で溶かした薬をスポイトで頬の内側に少量ずつたらし、その後すぐに水やジュースなどを飲ませ流し込みます。

スプーン

スプーンの上で薬を少量の水または白湯で溶かし飲ませます。1回量が多くならないように少量の水または白湯で溶かすのがポイントです。その後すぐに水やジュースなどを飲ませ流し込みます。

その他の方法

服薬補助ゼリー、オブラートなどで包んで飲ませます。
 バニラアイスやジュース、チョコレートに混ぜて飲ませる場合もあります。

お薬によっては混ぜるものにより、苦みが増してしまうこともあります。
 お薬の飲ませ方に困ったら、薬剤師に相談してください。

健康増進センター



(前列左から)水澤健診事務課長、松田医師、村田健診部長、遠田健診副部長、菅原健診棟看護師長
 (後2列)健康増進センタースタッフの皆さん

主に人間ドックや事業所契約の総合健診を担当しています。人間ドックや健診は、受診するだけで安心とはいえません。受診したことを活かすため、スタッフ一同、受診当日の結果説明や医療面談に力を入れています。

(1)要医療判定は健康的な日常生活に影響しうるものばかりですので、受診勧奨を切に提案します。特に「がん」の疑いを晴らすことは重要となります。

(2)生活習慣病に関する判定やその課題は、当日の結果や面談だけでは評価が困難なことも多いです。生活習慣の課題を簡便に測る方法をいくつか提案します。

①家庭血圧計で、普段の血圧を測る
 ②歩数計で、日頃の活動性を測る
 ③体重計で、体重の推移を測る
 ④朝の目覚めと日中の眠気で、睡眠の充足度を測る

いずれも測り続け、可能なら記録することで、生活習慣の変動性が可視化・実感され、重要な情報となります。全身の動脈硬化性疾患(心臓病・脳卒中のみならず慢性腎臓病や認知症など)を予防するため、次回受診まで放



置せず数ヶ月後のフォローアップをお勧めすることがあります。受診履歴をさかのぼると年余にわたる課題で、面談情報等を踏まえると生活習慣が主因と言えず、体質改善のための内服治療をお勧めする場合も少なくありません。必要に応じて医療を受けやすい環境とするため、生活圏内に「かかりつけ医」を作る事を受診者全員にお勧めしています。

(3)次回受診時の検査選択について
 がん(特に肺がん、大腸がん)で亡くなる方が最も多い現状、ピロリ菌・除菌治療の有無で胃がん発生のリスクが異なる事、女性は乳がんが多いなどを踏まえ、がん検診の選び方も個別に提案しています。

受診者の皆様には来院前の新型コロナウィルス感染予防対策でご負担をおかけしておりますが、スタッフ一同、皆様の健康増進を少しでも支援できればと考えています。

市民公開講座「肺がん」を公開しました



②胸腔鏡手術による肺癌の外科治療
呼吸器外科部長 河合秀樹



①当院の肺がん治療(内科的治療)
呼吸器内科部長 小高英達

昨年引き続き、「市民公開講座」がホームページ上で閲覧可能となっております。今年度のテーマは「肺がん」です。小高呼吸器内科部長と河合呼吸器外科部長よりご講演いただきました。皆さんぜひご覧ください！



ACTION!防災・減災 命のために今うごく

災害をなくすことはできません。だからこそ、災害が起きてしまう日に備え、日本赤十字社は事前の準備を行なっています。そこに届けるものを、そこに行く医師や看護師を、一緒に活動してくれるボランティアを。すべては、命を守るため。あなたの想いを託されて私たちは活動しています。日本赤十字社が、「ACTION!防災・減災」のスローガンのもと、災害に対して、皆様と共に備える活動も2年目となりました。災害時、あなたを一番守るのは、今のあなたの行動です。命のために、今うごいてください。



備えているのは、人、物、想い。

ACTION! 防災・減災
— 命のために今うごく —

救うを託されている。



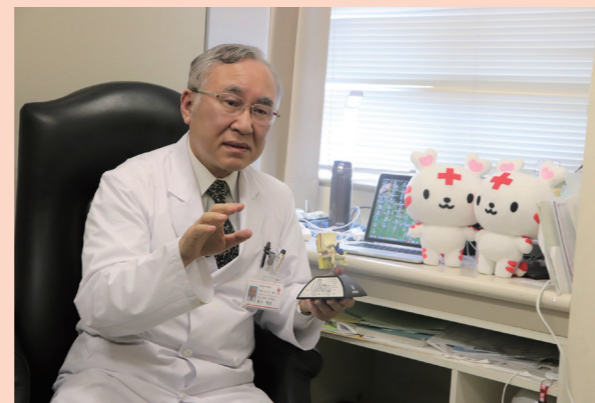
日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

＼備えをツイートするだけで100円が寄付される！／
#あなたの備えがみんなの備えにキャンペーン2022



教えて!病気や健康のこと! ～秋田赤十字病院の専門医が分かりやすく解説～

日本赤十字社秋田県支部と秋田赤十字病院のコラボ動画第2弾!
今回は、誰でも一度は経験のある「めまい」について、石川耳鼻咽喉科医師にお聞きしました。
動画は日赤秋田県支部のホームページにて公開しています。ぜひホームページをご確認ください!



一緒に乗り越えよう。また、笑顔になるために。

日本赤十字社は、国内外における災害救護をはじめ、いのちを救うための活動を行ってきました。そして、新型コロナウイルスの感染拡大で、これまでと同様の活動を続けるのが難しい中、多くの方から温かいご支援をいただき、いのちを救うための活動を、途切れさせることなく続けています。
自分や大切な人のいのちを守るため一人ひとりが、今できることを考え、私たち日本赤十字社の職員やボランティアと一緒に乗り越えていきましょう。



日本赤十字社で働く若手職員やボランティアと一緒に、今、自分に何ができるかを考えてみませんか?

特設サイトへ▶

編集後記

今シーズンの積雪は平年の2倍以上と大変な冬でしたね。最近日はもだいぶ長くなり、仕事から帰るときは明るく嬉しい気持ちになります。
今年度も相変わらずコロナ禍の1年でしたが、東京オリンピックや北京オリンピックが無事開催され、夜な夜なテレビに釘付けの毎日でした。選手たちの高みを目指し挑戦する姿に感動し、たくさんの方の勇気を貰い、スポーツの素晴らしさを再認識しました。表紙の写真の秋田県ドクターヘリは運航開始から祝10年!この間、2,781件出動しております。(2022年1月末現在)これからも安全な運航で、県民のみなさまの健康を守ってきたいと思います。(企画調査課 菅原)

NICU卒業生 親子の会「めんちょこの会」

新生児集中治療室への入院経験を持つ親子同士の交流や情報交換、なつかしいスタッフとの再会、育児や発達の相談などを目的にした会です。ぜひ、お気軽にご参加ください。

- 日時: 令和4年3月24日(木) 13:00~14:30
 - 会場: 秋田赤十字病院 2階 多目的ホール
 - 参加費: 無料
 - 参加申し込み・問い合わせ先: 小児科外来受付(☎018-829-5000)
- ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、14日以内の行動履歴やご自身およびご家族の体調を確認させていただきます。詳しくは当院ホームページをご確認ください。

外来診療のご案内

(令和4年3月1日現在)

診療科目	午前/午後	月	火	水	木	金
泌尿器科	午前	○	○	○	○	○
神経内科 (4/1~完全予約制)	午前	○	○	○	○	○
	午後	予約のみ				
整形外科	午前	○	○	○	○	○
	午後	予約のみ				
内科	午前	○	○	○	○	○
代謝内科	午前	○	○	○	○	○
	午後	予約のみ	○	○	○	予約のみ
腎臓内科	午前	○	○	-	○	○
	午後	-	-	予約のみ	-	-
血液内科	午前	○	予約のみ	予約のみ	○	-
心臓血管外科	午前	-	-	○	-	-
循環器内科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	-	-	-	-
消化器(肝胆膵)	午前	○	○	○	○	○
	午後	-	-	IBD(予約のみ)	IBD(予約のみ)	-
消化器(消化管)	午前	○	○	○	○	○
消化器外科	午前	○	○	○	○	○
	午後	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	○
小児科 (完全予約制)	午前	○	○	○	○	○
	午後	予約のみ				
小児外科 (完全予約制)	午前	-	-	-	-	○
産科	午前	○	○	○	○	○
	午後	妊婦健診・産後1か月健診のみ				
婦人科	午前	○	○	○	予約のみ	○
	午後	検査	○	○	予約のみ	○
眼科	午後	予約のみ	レーザー治療/検査	レーザー治療/検査	検査	レーザー治療/検査
	午前	○	○	○	-	○
脳神経外科	午前	○	○	○	-	○
呼吸器外科	午前	○	予約のみ	第2・4	予約のみ	○
緩和ケア内科 (完全予約制)	午後	-	-	-	-	○
乳腺外科 (完全予約制)	午前	○	○	○	○	予約のみ
	午後	○	○	○	-	-
呼吸器内科 (完全予約制)	午前	○	○	○	○	○
形成外科	午後	○	-	○	レーザー治療	○
皮膚科	午前	○	△	○	○	△
	午後(予約のみ)	検査・手術	検査・手術	検査・手術	検査・手術	検査・手術
耳鼻咽喉科	午前	予約のみ	○	○	○	予約のみ
	午後	-	めまい(第2・4)	めまい	-	めまい
精神科 (完全予約制)	午前	○	予約のみ	○	○	○
	午後	○	予約のみ	○	-	○
腫瘍内科	午前	○	○	予約のみ	○	○

※小児科、小児外科、緩和ケア内科、乳腺外科、呼吸器内科、精神科は原則として予約制です。

※休診日、診察時間外に関係なく、救命救急センターは24時間対応しております。

※皮膚科の火曜日、金曜日の新患は、紹介状のある方のみとなります。(上表△印)

右記QRから受付時間・診療時間の詳細にアクセスいただけます



受付時間 診療科、曜日により異なります。

診療時間 8:30~17:00
(診療科、曜日により異なることがあります)

休診日 土・日曜日、国民の祝日、
12/29~1/3、7/1(創立記念日)

面会時間 面会制限中

詳細は当院ホームページをご覧ください。

紹介状をお持ちの方

初めて受診する方は、地域医療機関(最寄りの医院・病院)からの紹介状をお持ちください。
電話で予約も可能です。
予約先: 地域医療連携室 018-829-5233(直通)
平日 8:30~17:00

紹介状をお持ちでない方

予約先: 各科外来窓口 018-829-5000(代表)
平日 14:00~16:00
紹介状をお持ちでない方は、診療費の他に初診時の選定療養費*として5,500円(税込)をご負担いただきます。
*選定療養費… 国が病院と診療所の機能分担の推進を図るために定めた制度です。
令和4年4月1日以降は7,700円(税込)となります。